

先端国際共同研究推進事業

Adopting Sustainable Partnerships for Innovative
Research Ecosystem(ASPIRE)

ご紹介

令和5年 6月20日



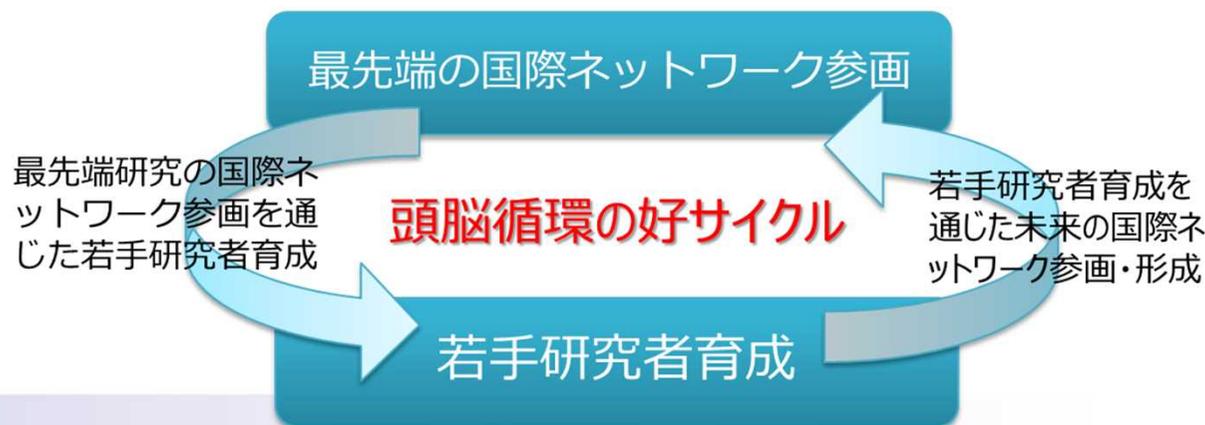
科学技術振興機構

我が国科学技術の国際的地位を巡る状況とJSTの対応

- 日本の研究力が低下。さらに**最先端研究の国際ネットワークから脱落**し始めている。
- 一方、昨今の地政学的変化を受け、科学技術強国において**日本との連携を再評価する動き**。

⇒ この機を捉えた、**国際頭脳循環・共同研究の強化が必要**

1. 最先端研究の国際ネットワークへの日本人研究者の参画促進
2. 若手研究者の育成、コネクションの強化を通じた持続可能な国際ネットワークへの参画・連携の土台作り



先端国際共同研究推進事業 予定する支援内容

- 次の公募を実施予定
 - 令和5年度：アライメント公募
 - 公募（予定）：6月～8月、課題採択：令和6年2月
 - 令和6年度：アライメント公募、共同公募
 - 令和7年度：アライメント公募、共同公募

※アライメント公募：各国・地域の有力資金配分機関（公私問わず）から十分な研究資金を得ている各国・地域のトップ研究者との連携を希望する日本側研究者チームの研究提案を公募

- 試行公募を実施した結果、以下の公募枠の設定を検討
 - 「トップ研究者」枠：最大1億円／年・課題、5年間支援
 - 「チーム型研究」枠：最大1億円／年・課題、5年間支援
 - 「中堅・若手研究者」枠：2～3,000万円／年・課題、3～5年間支援

先端国際共同研究推進事業 運営統括、研究主幹

＜運営統括（PD）＞

- ・宮野健次郎 NIMS名誉フェロー、JST CRDS先端科学技術委員長

＜研究主幹（PO）＞

○バイオ分野

- ・竹山春子 早稲田大学 先進理工学部 教授

○AI・情報分野

- ・八木康史 大阪大学 産業科学研究所 教授

○マテリアル分野

- ・相田卓三 理化学研究所 副センター長（東京大学卓越教授）

○半導体分野

- ・天野英晴 慶應義塾大学 理工学部 教授

○エネルギー分野

- ・菅野了次 東京工業大学 科学技術創成研究院 特命教授

○量子分野

- ・川上則雄 立命館大学客員教授/大阪大学招聘教授

○通信分野

- ・山中直明 慶應義塾大学 理工学部 教授

令和5年度 アライメント公募

	Top研究者のためのASPIRE (ASPIRE for Top Scientists)	TopチームのためのASPIRE (ASPIRE for Top Teams)	次世代のためのASPIRE (ASPIRE for Rising Scientists)
対象	国際的にトップ水準の研究を行う研究者	連携して国際的にトップ水準の研究を行う研究チーム	今後国際的な研究実績を積み、将来のトップ研究者になることが期待される研究者
支援規模	最大3.8億円 (直接経費の30%にあたる間接経費を含む場合、最大5億円)		最大6,900万円 (直接経費の30%にあたる間接経費を含む場合、最大9,000万円)
支援期間	5年間；2023年度～2028年度末 (2024年2月～2029年3月)		3年間；2023年度～2026年度末 (2024年2月～2027年3月)

令和5年度 アライメント公募

研究分野	AI・情報、バイオ、エネルギー、 マテリアル、量子、半導体、通信
対象国/ 地域	米国、EU、イタリア、オーストリア、オランダ、 スウェーデン、スペイン、チェコ、デンマーク、 ドイツ、フィンランド、フランス、ベルギー、 ポーランド、ポルトガル、英国、スイス、 ノルウェー、カナダ、オーストラリア

※ 相手国側研究者は対象国・地域の研究資金配分機関や研究機関等のプログラムで支援を受けている、または今後支援されることが決まっていること

令和5年度 アライメント公募

※ 提案・審査スケジュール

研究提案 受付	2023年8月17日（木）正午 まで
書類審査	2023年8月下旬～11月上旬
面接審査	2023年11月下旬 （書類審査を通過された方のみ）

公募内容の詳細

※ 詳細は専用Webサイトをご確認ください

<https://www.jst.go.jp/inter/aspire/index.html>



※ 公募に関するお問い合わせ

Top研究者のためのASPIRE/TopチームのためのASPIRE → [aspire\(at\)jst.go.jp](mailto:aspire@jst.go.jp)

次世代のためのASPIRE → [aspirers\(at\)jst.go.jp](mailto:aspirers@jst.go.jp)

ご静聴ありがとうございました。

発表後も会場におりますので、
お気軽にお声がけください。